



市川中HP

1学期を振り返って

▼4月6日、60名の新入生を迎え、全校生徒188名で新たなスタートを切った1学期が本日で終わります。▼本校では、新型コロナウイルスへの対策を講じながら、学校教育目標の実現に向け、予定していた教育活動が実施できるように努力してきました。▼ここでは、私が校長として感じたことを中心に、1学期を振り返りたいと思います。

★授業中の様子から

▼私自身は、日常的に各クラスの授業を参観しました。学年・教科によって、多少雰囲気は違うのですが、どのクラスも元気がよく、まじめに取り組む姿が見られました。先生方もワークシートを用意したり、グループ学習を取り入れたりと様々な工夫をして授業に臨んでいます。また、学期の後半は、1人1台のタブレットパソコンが導入され、全ての教科で積極的に活用し、生徒が生き生きと学習活動に取り組む場面が見られました。▼授業は生徒と教師が創り出すものです。教師はしっかりとした準備をして授業に臨み、生徒は真剣に集中して取り組む。この1時間1時間の積み重ねが、学習意欲や学習理解につながり、最終的には一人一人の学力や集団の力の向上につながります。今後も質の高い授業を目指して、共に頑張ってください。

★部活動・生徒会活動の様子から

▼昨年はほとんどできなかった部活動が今年度はほぼ例年通りに実施することができました。各部とも放課後や休日の練習に熱心に取り組む姿が見られました。この結果、4月に行われ地区選手権大会では、野球部・女子バスケットボール部・男子剣道部が優勝し、6月の総合体育大会では男女バレーボール部・男子剣道部が優勝するなど、全ての部が全力であたり、充実した活動を展開してくれました。また、吹奏楽部も8月1日にYCC県民文化ホールで行われる「コンクール」に向け頑張っています。▼5月に行われた生徒総会では、全校生徒が同じ方向を向いて前向きに取り組んでいきたいという思いからスローガンを「向日葵」に設定し、「きまりのあり方」や「SNSの使い方」について議論を深めるこ

とができました。▼そして、実態調査や学級討議を重ねて作り上げた「SNS利用宣言」は、本校のホームページを通して、NHKの記者の目に留まり、素晴らしい実践なので、取材させて欲しいという依頼があり、20日には県内ニュースで紹介されました。この価値ある宣言が、今後も生徒一人一人の高い意識によって着実に実行できることを期待しています。



★登校時の様子から

▼私と教頭先生で、毎朝、校門で生徒を迎え入れました。「おはようございます」と元気よく挨拶してくれる生徒もたくさんいますが、残念ながら、そうではない生徒もいます。▼あいさつは、相手より先に(先にされた場合は、その人より大きい声で)、きちんと相手の顔を見て、できるだけ笑顔でできるワンランク上の先大見笑のあいさつができるといいですね。

夏休みを前に

▼先週、三者懇談を終えました。そして本日、各自が通信表を手にしたことと思います。1学期の通信表を見て「よし、この調子で頑張ろう!」と思った人、がっかりした人、焦っている人、様々でしょう。今回、思っているような結果が出なかった人は、1学期の自分に何が足りなかったのかを見極め、明日からの夏休みに、克服に向けての一步を踏み出すことが何よりも大切になります。▼子供たちの人生は長くこれからです。「焦ることはない、でも怠けてはいけない。自分の未来のために、今できることをしっかりやろう!」と日々励まし応援してやってください。▼引き続き、コロナ感染と熱中症に注意しながら、有意義な夏休みを過ごして欲しいと思います。

